

ヴィチェンツァ



久しぶりに天気の良い日曜日なのでまた出かけてしまいました。今回もまた、ミラノ中央駅からユーロスター（ES）に乗り、ヴェローナの一つ先のヴィチェンツァに行ってきました。ヴェローナと同じくヴィチェンツァもローマ時代からの古い街です。但し、この街の観光資源は、ヴェローナとは違い16-17世紀の建造物です。ヴィチェンツァは後期ルネッサンス（16世紀）の優れた天才建築家であるアンドレア・パッラーディオの街と呼ばれています。この街の世界遺産の名称も、“ヴィチェンツァ市街とヴェネト地方のパッラーディオのヴィツラ”となっていて、パッラーディオがこの1994年に登録された世界遺産の主役となっています。また、ヴィチェンツァは、小さな街ですが、昔から今日まで経済的に裕福なので、貴金属・宝石の店が特に多い上に、ブランド店も立ち並び女性好みの街でもあります。

ヴィチェンツァ駅から歩き出し、5分もたたないうちに12,3世紀に建てられたお城の門を通り抜けると天才建築家の名を取ったパッラーディオ大通りです。この通りには、パッラーディオとその弟子達が建てた大きな宮殿が並んでいます。もちろん、貴金属・宝石、ブランド店もこの通りにあります。通りを右に入るとヴェチェンツァのドゥオモとその先にシニョーリ広場があります。このシニョーリ広場に、パッラーディオの最高傑作であるバシリカとヴェネツィア総督府のロτζジャが面しています。バシリカは、ブレシャのロτζジャとよく似ていますが、両方ともパッラーディオの設計だそうです。シニョーリ広場は、ローマ時代のフォロがあった場所で、この地下にはローマ遺跡が眠っているとのことですが、パッラーディオの前ではローマ遺跡も勝てないのでしょうか。





このインフォメーションで街の地図を貰って、ここから街歩きの開始です。

まずは、パッラーディオ大通りの突き当たりのオリンピコ劇場に行きました。ここはパッラーディオの傑作のひとつとして、ヴィチェンツァの街で一番の観光スポットです。劇場入口の前にあるたくさんの彫刻が並ぶ中庭はとても風情があります。同様な室内劇場は、サッピオネータ、パルマ、マントヴァにあり、それぞれすばらしかったのですが、ここはそのどれよりもすばらしい劇場でした。さすがパッラーディオですね。ここも、他の室内劇場と同じように遠近法を駆使して外の劇場のような広がりを持たせています。この劇場は今でも使っているそうです。



オリンピコ劇場をゆっくりと楽しんだ後は、同じ入場券で行ける直ぐ傍のパラッツォ・キエリカーティ美術館です。ここもパッラーディオが建てた宮殿を利用しています。ここには、所謂ヴェネト派の画家の作品があります。それほど大きな美術館ではなくちょうど手頃で絵画鑑賞を楽しめます。ヴェネト派

の絵画は心に刺さるほど感動するものではありませんでしたが、やはり、美術館は気が休まります。



ここには、18世紀ヴェネト派最後の巨匠と言われるジョヴァンニ・バッティスタ・ティエポロの部屋がありました。フレスコ画の巨匠ですが、パルマのコレッジョやマントヴァのジューリオ・ロマーノに比べるとインパクトが小さかったような気がしました。

ヴィチェンツァの一番の見どころの後には、またパツラーディオ大通りをパツラーディオの建築物を見ながら散策しました。何となくパツラーディオの作品が掴めた感じです。



でも、それを感じるのはまだ早かったようです。最後に、街から1.5キロほど離れたところにあるパツラーディオの本当の傑作を訪ねて、自転車・歩行者用の静かな田舎道を15分程散策し、そこに到着すると、そこには、街中とは全く違う自然と調和したパツラーディオの建築がありました。



ちょっとした高台に立っているこの建物（名はロトンダ）は、ホワイトハウスのモデルにもなったそうです。4方向のどこから見ても同じ形の建物で、周りの庭とその周りの景色との調和したすばらしいロトンダでした。イギリスやアメリカだけでなく日本の洋風の建物も、少なからずパツラーディオの影響を受けているものがあると言います。パツラーディオがいなかったら、ホワイトハウスや国会議事堂も違った建物になっていたのだと思います。

ヴィチェンツァは小さな街です。片道 15 分の近郊の散策も入れて、街の観光は正味 3 時間半で十分でした。観光客が少なく静かな日に訪ねたこともあります。ヴィチェンツァはなかなか良い街です。

ミラノ中央駅又はランブラーテから普通列車もあります。所要時間は約 2 時間 15 分で料金は 10.55 ユーロですが本数が限られています。ES を使うとヴェネツィア行きが 1 時間に 1 本あり、所要時間は 1 時間 50 分で料金は 22.5 ユーロですので、ES としては良心的な金額です。相変わらず、イタリアの列車はトラブルが多く、この日も乗ろうと思っていた 9 時 15 分と 35 分の ES の切符が購入できませんので、仕方なく 10 時 35 分となってしまいました。理由は、9 時 15 分の ES が突然キャンセルになり、9 時 35 分の列車に振り替えられたためです。それも、9 時 35 分の ES が 1 時間遅れで、なんと、10 時 35 分の ES の直前に出発しました。10 時 35 分の列車は定刻どおりだったのですが、その影響を受けて満員でした。でも、誰も文句を言わず仕方ないで終わってしまいます。それがイタリアです。とにかく、結果として 10 時 35 分の ES は大正解で、席も確保してゆったりと列車の旅が出来ました。帰りは、予定通りに 4 時過ぎの列車で 6 時に中央駅に到着しました。でも、これくらいのトラブルでは、全く動揺もしなくなっていました。もう、ほとんどイタリア人です。